

川崎市市民ミュージアム ボランティア広報紙

パルス



ミュージアムボランティアについて

市民ミュージアムでは、来館者とミュージアムの架け橋となるボランティアが、さまざまな活動を行っています。そのなりたちをご紹介します。(イベントサポートグループ 広報担当 蔵本)

年度	活動の取り組み
2008	<b>ボランティア誕生</b> 見学サポート、イベントサポートを23名で活動開始
2009	<b>企画・運営グループの立ち上げ</b> 担当職員と協力しながら、自主的な活動の準備を進める
2010	<b>ボランティアブログをスタート</b> メンバー間の活動内容の共有を目的として開設
2011	<b>展示ガイドグループ(博物館部門)が活動開始</b> 企画・運営グループの自主企画第1号として展開
	<b>チャイルドサポートグループが活動開始</b> すでに活動していたグループを組織化
2012	<b>ワークショップグループが活動を開始</b> <b>展示ガイドグループ(美術館部門)が活動開始</b> 企画・運営グループの自主企画第2・3号として展開
	<b>ボランティアデー開催</b> 7グループそれぞれの体験が一日でできるイベントを実施
2013	<b>広報紙「パルス」第1号発行</b> ボランティア活動を内外に発信する目的で刊行

ご参加、お待ちしております!

みる・きく・あそぶ  
ミュージアムまるごと体験  
川崎市市民ミュージアムボランティアデー

日時:平成26年10月19日(日)10:00~16:00

会場:川崎市市民ミュージアム館内・中庭

参加費無料・事前申込み不要

※展示ガイドやワークショップなどを、一日で体験!たくさん参加すると、素敵なグッズがもらえる! 詳細については開催案内チラシもしくはミュージアムのWebサイトをご覧ください。



市民ミュージアムでは、公共の施設として、より“地域に根ざした存在”を目指し、2008年にボランティア制度を導入しました。2007年に館内にワーキングチームを組織し、導入の検討を始め、まずは、市内小学4年生が二ヶ領用水の学習をする際の「見学サポート(現スクールプログラムサポート)」と、「イベントサポート」の2つの活動グループからスタートすることになりました。2008年3月に最初のボランティア募集を行い、6月から登録者23名でミュージアムボランティアの活動を開始しました。

活動回数を重ねるにすぎない、サポートだけではなく、より主体的な活動をしたいという機運が高まり、そこから「企画・運営」や「展示ガイド」、「ワークショップ」等のグループが生まれ、現在では計7グループ、総勢73名で活動をしています。

(ミュージアム ボランティア担当職員 内海)

「一緒に楽しんでいきましょう!」 土谷憲司(つちやけんし) 新館長にインタビュー

—プロフィールと特にご趣味についてお聞かせください。

1977年4月に川崎市役所に入庁し、以後10数か所の異動を経て、今年3月まで多摩区役所の副区長を務めていました。趣味は、ブルーグラス(BLUEGRASS)というジャンルの音楽で、大学時代にその魅力にはまってから40年以上になります。ブルーグラスは、アメリカ南東部で伝承されてきたマウンテンミュージックを元にした、アコースティック系の音楽で、その明るい曲調にいつも元気づけられています。語りだすと3時間は必要ですよ!(笑)

—市民ミュージアムに寄せる思いをお聞かせください。

複合の文化施設ということで、他にはない魅力と可能性がありますね。また、展示のみならず、地域の方々と一緒になって盛り上げていくワークショップやイベントなどの活動を通じて、幅広い世代の方々に楽しんでいただける施設です。「気軽に立ち寄りいただけるミュージアム」が特色ですから、来館者がさらに増えるよう、積極的な広報活動が必要だと思っています。

—ボランティア活動について率直な感想をお聞かせください。

時間の許す限り、直に接したいと思っています。みなさんの活躍ぶりを目の当たりにして、地道ではあるけれども継続した活動の必要性というものを、改めて感じています。

—ボランティアに向けたメッセージをお願いします。

私が趣味とする音楽もそうですが、文化・芸術は人生にふくらみを持たせてくれます。みなさんには「明るく・楽しく・元気よく」、好きなことを極めて、それを来館者にわかりやすく伝えてほしいですね。

(展示ガイドグループ(美術館部門) 広報担当 黒佐)



※パルスとは、律動・鼓動の puls と友だちの pals を掛け合わせたものです。絶え間ない活動とメンバー相互の輪を表現しています。

## ボランティア総会がありました

6月7日に年に一度のボランティア総会が開催されました。総会では規約の見直し、また、各グループの活動報告に加え、平成25年度の新たな取組である広報紙「パルス」の発刊とボランティアデーの開催についての報告が行われました。

総会後は、各グループに分かれて、歓迎及び親睦会も行いました。新規のメンバーにとっては、この総会が他メンバーやミュージアム職員と顔合わせをする初めての場となります。私はこの親睦会で

普段の活動を振り返りながら、意見交換をしたり、疑問点を確認したりすることで、新たな発見もあり、仲間とのつながりがより深まったと感じました。実際の活動が始まると、自分の所属以外のグループとは接する機会が少ないので、この総会と親睦会は他メンバーと交流を深めるよい機会となりました。

(チャイルドサポートグループ 広報担当 石井)



### ◎ペンリレー◎

スクールプログラムサポートグループは、市内の小学4年生が、川崎の歴史遺産・二ヶ領用水について学習するのをサポートしています。来館する子どもたちは探検バッグを携えて、元気にバスから降りてきます。館内での約2時間は、子どもたちにとって校外活動のわくわく感もありながら、美術館・博物館でのマナーを学ぶ場でもあります。楽しみながらもミュージアムの約束事を守るよう調整するのもボランティアの役割です。子どもたちが元気に学習する姿を見守るのは私たちの楽しみです。

(スクールプログラムサポートグループ 広報担当 山村)



### ◎今後の活動予定◎

展示ガイド(美術館部門)10月5日(日)11:30/13:30/14:30  
展示ガイド(博物館部門)10月26日(日)13:30/14:30  
ワークショップ 10月26日(日)「ちぎり絵のしおり作り」  
11月以降の予定は、ミュージアムカレンダー又はミュージアムのWebサイト(<http://www.kawasaki-museum.jp>)をご覧ください。

### ◎ユニフォームのご紹介◎

専用ユニフォームは、活動が充実してきた2012年12月に制作され、翌年1月から着用が始まりました。初めての来館者でも一目でわかるように、市販のウェア(ビブス)に親しみやすいデザインを施し、シルクスクリーン手法で印刷したものです。デザインと印刷はボランティア、版作成は職員による共同制作です。

博物館みどころガイドはピンク地にスケッチブックのデザイン、アートみどころガイドは黒地にパレットのデザイン、その他イベントサポート・ワークショップなどの活動は緑地にミュージアムロゴのデザイン。ミュージアムを身近に感じてほしいという気持ちを込めて作りました。

(企画・運営グループ 広報担当 江原)



### ～編集後記～

第3号をお届けします。市民をはじめ各方面の方々に向けた初めての発刊となります。広報紙はボランティア相互の情報共有の充実を図る媒体として、また市民の方々が直接ご覧になったり、参加していただいたり、そのための情報を発信する媒体として誕生しました。市民の方々にボランティア活動が伝わるように、わかりやすく魅力ある記事を熱意をもって各活動グループ広報担当が展開していきます。日頃のボランティア活動を通してボランティアがミュージアムと市民の架け橋となり得るように、広報紙を通じて様々なボランティア活動を紹介していきます。どうぞご期待ください。

(企画・運営グループ 広報担当 江原)



発行者:ミュージアムボランティア 広報担当  
発行責任者:川崎市市民ミュージアム  
<http://www.kawasaki-museum.jp>